

平成 27 年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

No	署別	発生日	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発生状況
1	大曲	1月	その他の研究教育業 (12-1-9)	50歳代 (1~10年)	墜落、転落	建築物、 構造物	RC造2階建て校舎の雪下ろし作業のため、1人で約10mの高さの校舎屋上にて雪庇を降ろそうと端部に近づいたところ、屋上の端部に積もった雪庇（屋上端部より約70cmせり出した状態）と共に約10m下のアスファルト地面に墜落し死亡した。
2	横手	2月	その他の土木事業 (3-1-99)	60歳代 (30~40年)	墜落、転落	はしご等	排水路の整備工事において、排水路内の中央を矢板（高さ約2m）で締切した左岸側の工事箇所から矢板越しの排水路（右岸側）に排水するために、矢板に設置した梯子上で排水ポンプのホースを矢板越しに設置しようとしていたとき、梯子の重心が傾き、梯子と共に右岸側の排水路に転落し頸椎損傷により死亡した。
3	大館	2月	鉄骨・鉄筋コンクリート造家屋建築工事業 (3-2-1)	40歳代 (20~30年)	爆発	可燃性のガス	建設工事現場で、鉄筋の圧着作業に使用するためトラックの荷台上に積んでいたガスボンベからアセチレンガスのホースが外れ、漏れたガスが爆発し、作業員4名が被災し、うち1名が死亡した。
4	大曲	3月	水道業 (1-16-3)	40歳代 (1~10年)	有害物等との接触	有害物	温泉供給設備において、源泉から200m離れた引湯管のエア抜き管設置箇所（積雪約2mのなかに掘った雪穴：縦1m×横1.8m×深さ2m）の中でエア抜き管の詰まりの点検作業中、事業主と作業員が倒れ、その救助に当たった市企業局職員も含め計3名が硫化水素中毒により倒れて死亡した。
5			上下水道工事業 (3-1-10)	60歳代 (10~20年)			
6	横手	3月	河川土木工事業 (3-1-7)	40歳代 (30~40年)	その他	起因物なし	現場で使用した発電機などの機材片付け作業のため、積載型トラッククレーンへの積み込み作業を行っていたが、トラック荷台下の道路上に倒れているところを通行人に発見され、救急搬送されたものの、翌日、くも膜下出血により死亡した（過重労働によるもの）。
7	本荘	6月	農業 (6-1-1)	80歳代 (10~20年)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の一般 動力機械	りんごの果樹園において、農業用高所作業車を用いてりんごの摘果作業中、当該高所作業車の搬器の手すりとりんごの木の枝（直径約12.5cm、枝の高さ約1.3m）の間に頸部を挟まれ死亡した。
8	大館	7月	砂防工事 (3-1-8)	50歳代 (20~30年)	墜落、転落	地山、岩石	道路沿いの法面補強工事現場において、法面（勾配約45度）でラス張りのアンカーピンの打込作業中、被災者は転落防止のロリップを親綱から外した時に、法面を約40m転落し死亡した。
9	大曲	7月	木造家屋建築工事業 (3-2-2)	70歳代 (0年)	墜落、転落	屋根、はり、 もや、けた、 合掌	木造平屋建て作業小屋の増築工事において、屋根上で垂木に野地板を取り付ける作業中、屋根上（高さ約3m）から土の地面に墜落し死亡した。
10	大館	8月	木造家屋建築工事業 (3-2-2)	60歳代 (40~50年)	墜落、転落	足場	木造平屋建ての倉庫新築工事現場において、外壁下地に貼るシートを固定するため、仮設足場（高さ3.66mの2段目）でしゃがんで作業していたところ、バランスを崩し、足場と建物の間へ墜落し、死亡した。
11	大館	9月	ハイヤー・タクシー業 (4-2-1)	60歳代 (1~10年)	乗用車	激突され	タクシーに乗務中、客の求めに応じて指示された駐車場に駐車したところ、乗客の男性に刃物のような凶器で脅され、現金を要求された後に当該凶器で腹部を刺される等により死亡した。
12	大曲	9月	木材伐出業 (6-2-1)	60歳代 (50~60年)	墜落、転落	立木等	私有林の広葉樹（けやき）を伐倒するため、高さ10.7mの箇所に登り枝切り作業中、次の枝を切るため少し高いところに登ろうと、立木に回した安全带（規格外）のランヤードのロープ部分をズリあげ等していたところ、安全带のベルトのバックル部分が外れて転落し死亡した。
13	大館	9月	木造家屋建築工事業 (3-2-2)	60歳代 (40~50年)	墜落、転落	足場	木造2階建て住宅新築工事現場において、軒天の塗装作業中、仮設足場を歩行しているとき、足場（高さ3.09mの2段目）で2枚敷きの布板のうち、1枚が取り外された状態の部分があり、その開口部分から墜落し、死亡した。

平成 27 年 死亡災害発生状況（確定）

秋田労働局

No	署別	発生日	業種名	年齢 経 験 (○年以上 ○年未満)	事故の型	起因物	発 生 状 況
14	横手	10月	木材伐出業 (6-2-1)	40歳代 (10~20年)	墜落、転落	地山、岩石	現場内の山林において、被災者はドラグ・ショベルを使用し作業道の造成及び整地作業中、谷側のクローラ部分の作業道が崩れたなどにより、同作業道から約15m下の崖に転落し運転席を下にした状態で立木に引っかかり停止していたものの、支えていた立木が折れさらに50mほど転落し、死亡した。
15	大館	10月	木造家屋建築工事業 (3-2-2)	60歳代 (40~50年)	墜落、転落	足場	住宅の外壁張替工事現場において、地上から3段目の足場上(高さ5.4m)で窓枠のコーキング作業を行っていたところ、バランスを崩し足場内側と建物の間(間隔47cm。足場内側の手すり等の墜落防止措置なし)から2段目の布板に激突し、その後地面に墜落し、死亡した。
16	大曲	11月	木造家屋建築工事業 (3-2-2)	30歳代 (10~20年)	転倒	移動式 クレーン	木造2階建て住宅新築工事現場において、被災者は車両積載形トラッククレーン(ブーム角度:50度、作業半径:6m、アウトリガー:最小張り出し)を使用し、結束した木製土台41本(約700kg)を2本のスリングロープで玉掛けし吊り上げブームを旋回中、クレーンが転倒し、クレーンで操作していた被災者がクレーンと地面に積まれた足場材に挟まれ、死亡した。
17	秋田	11月	木製家具製造業 (1-5-1)	40歳代 (10~20年)	はさまれ、 巻き込まれ	その他の 動力運搬機	テーブル用天板部材の製造工程において、プレスで張り合わせた板材をテーブルリフターへ搬送するための機械から隣接するテーブルリフターに送給する際、板材のうち1枚の板が当該機械内に落下したため、板材を拾おうとして機械内に立ち入って頭部を上げたところ、スライドしてきた搬送用の爪部と本体の水平材との間に頭部を挟まれ、死亡した。
18	大曲	12月	木材伐出業 (6-2-1)	60歳代 (10~20年)	飛来、落下	立木等	山林の皆伐作業現場において、労働者2名で伐木作業中、被災者は赤松を谷側に伐木したところ、35cm離れた隣の赤松と上方でつる絡みしていたため、約30°倒れたところで停止した。被災者は2本とも伐倒しようと、隣の赤松にチェーンソーで追い口を入れたところ、追い口を入れた赤松のつるが絡まった枝(長さ9m)が折れて落下し、被災者の背中を直撃し、死亡した。
19	大館	12月	その他の土木工事業 (3-1-99)	50歳代 (1年未満)	激突され	整地・運搬・ 積み込み用 機械	作業場内において解体工事現場から出た廃材を粉砕した木片をトラクターショベルでコンテナに入れる作業中、被災者は落ちたごみを拾っていたところ、切り返しのため後退してきたトラクターショベルに轢かれて死亡した。